

1. (1) C^∞ 級関数 $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}$ に対し, $\text{rot}(\text{grad}(f)) = \mathbf{0}$ を示せ.
 (2) \mathbb{R}^3 上のベクトル場 V に対し, $\text{div}(\text{rot}V) = 0$ を示せ.
2. 次のベクトル場 $V: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^3$ について, $V = \text{grad}(f)$ となる関数 $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}$ が存在するものはどれか.
 (1) $V(x, y, z) = (y + z, z + x, x + y)$
 (2) $V(x, y, z) = (y^2 + z^2, z^2 + x^2, x^2 + y^2)$
 (3) $V(x, y, z) = (F(x), G(y), H(z))$, ただし $F, G, H: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}$ は一変数関数
3. $S := \{(x, y, 0) \in \mathbb{R}^3 \mid x^2 + y^2 \leq 1\}$ とおく.
 (1) S は境界つき曲面であることを示せ. ∂S を求めよ. (例 88 を参照せよ)
 (2) S の向き $n: S \rightarrow \mathbb{R}^3$ を, $n(p) := (0, 0, 1) (\forall p \in S)$ で定める. n が誘導する ∂S の向きを求めよ.
 (3) (2) の向きについて, \mathbb{R}^3 上のベクトル場 $V(x, y, z) := (-y + z, z + x, z)$ に対し, $\int_{\partial S} V \cdot dl$ を計算せよ.
 (4) (3) の V に対し $\text{rot}V$ を求め, $\int_S \text{rot}V \cdot dS$ を計算し (3) と比較せよ. (ヒント: 局所座標としては, 例えば $D := \{(s, t) \in \mathbb{R}^2 \mid s^2 + t^2 \leq 1\}$ とおき, $\varphi: D \rightarrow S$, $\varphi(s, t) := (s, t, 0)$ を用いるとよい)
4. $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}$ を $f(x, y, z) := z + x^2 + y^2 - 1$ で定義し, $S := f^{-1}(0) \cap \{z \geq 0\}$ とおく.
 (1) S は境界つき曲面であることを示せ.
 (2) S の向き $n: S \rightarrow \mathbb{R}^3$ を $n(p) := \frac{\text{grad}(f)(p)}{|\text{grad}(f)(p)|}$ で定義する. n が $\partial S = \{(x, y, 0) \in \mathbb{R}^3 \mid x^2 + y^2 = 1\}$ に誘導する向きを求めよ.
 (3) 前問 (3) の V に対し, $\int_S \text{rot}V \cdot dS$ を計算せよ.
5. 閉曲面 S と \mathbb{R}^3 上のベクトル場 V に対し, $\int_S \text{rot}V \cdot dS = 0$ を示せ. (ヒント: S は境界を持たない)
6. 向き付けられた境界つき曲面 (S, n) , (S', n') は $\partial S = \partial S'$ をみたし, さらに $p \in \partial S = \partial S'$ のとき $n(p) = n'(p)$ をみたすとする. このとき $\int_S \text{rot}V \cdot dS = \pm \int_{S'} \text{rot}V \cdot dS$ であることを示せ. 符号はどのように定まるか?
7. $S \subset \mathbb{R}^3$ を曲面とし (境界はあってもなくてもよい), $\varphi: U \rightarrow S$ を局所座標とする. $\varphi(U)$ 上の曲線 $l: (-\epsilon, \epsilon) \rightarrow \varphi(U)$ が与えられたとき, $\varphi: U \rightarrow \varphi(U)$ が全単射であることから, U 上の曲線 $m: (-\epsilon, \epsilon) \rightarrow U$ で $l(t) = \varphi(m(t))$ をみたすものが存在する.
 (1) $m(t) = \begin{pmatrix} m_1(t) \\ m_2(t) \end{pmatrix}$ と書く. $\frac{dl}{dt}(t)$ を $m'_1(t)$, $m'_2(t)$ と $\frac{\partial \varphi}{\partial s}(m(t))$, $\frac{\partial \varphi}{\partial t}(m(t))$ を用いて表わせ.
 (2) $p = l(0)$ とおく. $\frac{dl}{dt}(0) \in T_p S$ であることを示せ.
8. Stokes の定理における「コンパクト」(\mathbb{R}^3 の有界閉集合であること) という条件は必要である. ここでは有界性が必要であることを確かめよう. $S := \{(x, y, 0) \in \mathbb{R}^3 \mid y \geq 0\}$ とする.
 (1) S は \mathbb{R}^3 の閉集合だが, 有界でないことを示せ.
 (2) $\mathbb{H}^2 := \{(s, t) \in \mathbb{R}^2 \mid t \geq 0\}$ を上半平面とよぶ. $\varphi: \mathbb{H}^2 \rightarrow \mathbb{R}^3$, $\varphi(s, t) := (s, t, 0)$ は, 各 $p \in S$ の近くの局所座標であることを示せ. また $\partial S = \{(x, 0, 0) \in S\}$ であることを示せ.
 (3) S の向きを, $n(p) := (0, 0, 1) (\forall p \in S)$ となる法ベクトルで定める. このとき, (2) の座標は向きを保つことを示せ. また, $l: \mathbb{R} \rightarrow S$, $l(t) := (t, 0, 0)$ は n から誘導される ∂S の向きを表すことを示せ.
 (4) \mathbb{R}^3 上のベクトル場 $V(x, y, z) := (e^{-x^2}, x, 0)$ に対し, $\int_{\partial S} V \cdot dl$ を計算せよ. “ $\int_S \text{rot}V \cdot dS$ ” は有限か?
9. 形式的に $\nabla := \left(\frac{\partial}{\partial x}, \frac{\partial}{\partial y}, \frac{\partial}{\partial z}\right)$ とおくと, 次の形式的な「等式」を示せ.
 (1) \mathbb{R}^3 のベクトル場 V に対し, $\nabla \cdot V = \text{div}V$
 (2) C^∞ 級関数 $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}$ に対し, $(\nabla \cdot \nabla)f = \Delta f := \frac{\partial^2 f}{\partial x^2} + \frac{\partial^2 f}{\partial y^2} + \frac{\partial^2 f}{\partial z^2}$

(提出の必要はありません)

幾何入門 レポート問題 13 (2014 年 7 月 18 日)

担当 : 境 圭一

$S := \{(x, y, z) \in S^2 \mid z \geq 0\}$ (例 88 の曲面) とし, S の向きは $n(p) = p$ ($\forall p \in S$) で与えられるとする.

$V(x, y, z) := (y \cos z, -x \cos z, \sin z)$ に対し, $\int_S \operatorname{rot} V \cdot dS$ を計算せよ. (ヒント: Stokes の定理)

(7/25 の 3 限開始時まで提出してください)

http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/14_geometry/14_geometry.html